

父ヶ岳(ててがたけ)道迷い(2024年2月)

父ヶ岳からの下りの分岐で180度違う方向に道迷い。しばらくして間違いに気づき、来た道を登り返し予定ルートに復帰した。



解説

この事例は、全く違う方向に進んでしまうパターンで、「なぜ？違う方向に進んでしまうのだろうか？」と思うのだが、道迷いの事例としてはよく見るパターンである。

人は思い込みによって行動をしてしまうこともあるし、全く地図の先読みをしていない場合、何も考えていないのでサクッと道迷いをしてしまうことがある。今回の事例はどちらの要因か分からないが、気づいてから、来た道を登り返したので少ないリカバリーで済んでいる。

ややもすると「下ればどこかに出るだろう？」と進む人もいる。「**根拠のない行動**」は、遭難への近道であり、遭難へのターニングポイントといえる。

普通に考えると、来た道に戻るので、尾根上を進まないといけなのだが、道の分岐から沢を下っているため、これでは「あれっ？おかしい？」とすぐに気づくと思うのだが、道迷いの心理はそれを許してくれない。

この方は、地図アプリを利用されていたので、「あれっ？おかしい？」と気づいてから、恐らく地図アプリで現在位置を確認し、リカバリーされていると思われる。何をしてもよいので道迷いでは「**根拠のない行動**」だけは避けてほしい。